

ボランティア通信 No. 3

2022年 4月25日(月) 発行

4月22日(土) 文化財保護ボランティアに参加しました

ボランティアの内容

古河公方公園にあるカフェ「ジェラテリア」の掃除など。

ジェラテリアとは

茨城県出身の日本の建築家の妹島和代（せじまかずよ）さんが設計したカフェです。妹島さんは、建築界のノーベル賞といわれるプリツカー賞を受賞しています。建築を学んでいる学生は一度は訪れる有名な建物です。



作業前に、建物の話を聞きました



カフェのイス・テーブルを庭に出します



イス・テーブルも妹島さんのデザイン



高圧洗浄機での掃除



ブラシで磨きました



蜘蛛の巣をとりました

・公園は、緑が広がっていて、自然豊かでした。掃除した建物は、蜘蛛が住み着くくらい自然になじんでいました。建物はガラス張りで、室内からでも周りの風景を見ることができていました。掃除後の床や柱は元の白色に戻り、やりがいを感じました。(2年 Kさん)

・なにげなく行っていたお店が有名な建築家関わっていることを知って驚いたし、そのお店を細かいところまできれいにすることができて達成感がありました。(2年 Yさん)

・公共の建物を掃除したことがなかったので、貴重な経験になりました。ありがとうございました。(2年 Nさん)

・床をスポンジでこすり綺麗にしました。「綺麗になった」「ピカピカ」などの言葉をもらった時、すごく達成感があり、楽しく掃除ができたのでよかったです。(2年 Hさん)

・初めてのボランティアで緊張したが、しっかり掃除ができてよかった。(2年 Eさん)

・初めてボランティア活動に参加してみて、自分が行ったことのある総合公園に歴史的な建物があるとは知らなかったのが驚きました。今回は、掃除という形で地域の人たちの手助けができていたらうれしいです。ペンキ剥がしや子どもと遊ぶボランティアなど、これから様々な活動をし、もっと古河のことを知っていきたいなと思いました。(2年 Oさん)

・公共の物を掃除するという機会が今までなかったので、新鮮な気持ちでした。掃除はとても楽しかったです。(2年 Tさん)